

新たなつながりと可能性を広げる”共創”フォーラム

教育から社会課題解決の

イノベーションを興す

2025

9/22

@ブラザーミュージアム
(月) 18:30-20:30

Presenter

プロジェクトピッチ予定者(詳細は裏面へ)

株式会社日本旅行

一般社団法人まなびのとびら
岐阜羽島きょういくラボ
WITH 東海若手起業塾

東海学生アワード
& 地域版アワード



なぜ旅行会社が
地域と連携する教育事業
にチャレンジするのか？



不登校の子ども急増に
地域と企業は
どう向き合うか？



企業・地域団体は
若者が育つ生態系づくりに
なぜ共に取り組むのか？

sciフォーラム コメンテーター

日程 2025年9月22日 (月)

時間 18:30 ~ 20:30 若干の延長あり。
終了後懇親会あり

会場 ブラザーミュージアム
名古屋市瑞穂区堀込町5-15
名鉄堀田駅より徒歩2分・地下鉄堀田駅より徒歩3分

対象 社会貢献・CSRの企業担当者
NPO・ソーシャルビジネス関係者
SDGsや社会課題解決に関心ある社会人・
公務員・学生・高校生

参加費 無料 (懇親会は実費が必要です)



出原 遠宏

ブラザー工業(株)
コーポレートコミュニケーション部
SCIフォーラム理事



中島 幸志

NPO法人コモンビート
ファウンダー/理事/CIO
SCIフォーラム理事



市野 恵

地域福祉サポートちた 中日本高速道路株式会社
代表理事 名古屋支社 安全・サービス事業部
担当副理
SCIフォーラム理事 SCIフォーラム監事



小田切須美



主催：一般社団法人SCIフォーラム

お申し込みはこちら▶

SCIフォーラムとは、各企業、個々のセクター・個人の枠を超えて
「つながり」、互いに啓発しあうことで、まだまだ解決されていない
社会の課題に気づき、イノベーションを興すきっかけをつくる場です。

共催：公益資本主義推進協議会 愛知グループ



SUSTAINABLE CO-INNOVATION FORUM

プロジェクトピッチとブレストで可能性を広げる！

このフォーラムでは、プロジェクトを簡単に紹介するプレゼンをしていただき、参加者とディスカッションしたい問い（解決したい課題）を出していただきます。その問いに対して、参加者同士が当事者意識をもって自由な意見を出し合うディスカッションをします。プレゼンターは、多くの人々からのフィードバックや協力が得られる機会となります。

タイム テーブル (予定)	18:30	開会（受付開始 18時）
	18:35	問題提起 毛受芳高（SCIフォーラム理事）
		なぜ今「教育」に企業・地域は向き合うべきなのか？
	18:45	プロジェクトピッチ×3
		「教育」から社会課題解決のイノベーションを興す
	20:05	まとめ 犬塚 力（SCIフォーラム代表理事）
	20:15	参加者からのPRタイム
	20:30	終了予定。終了後・懇親会（任意）へ



毛受 芳高

一般社団法人アスパシ代表理事
SCIフォーラム理事

株式会社日本旅行



なぜ旅行会社が地域と連携する教育事業にチャレンジするのか？

1905年創業の総合旅行会社。2024年より、**名古屋市教育委員会「キャリア教育推進センター」**の運営をキャリア教育団体とともに、名古屋市のキャリア教育の推進を担っている。他にも、高校生の探究型プログラム「**第6回 SB Student Ambassador**」プログラムを実施し、**中部国際空港株式会社**などと連携し、次世代を担うリーダーの育成を狙う。修学旅行で学校との接点はこれまでであったが、急速に教育事業に注力しはじめたのはなぜなのか？

不登校の子どもの急増に地域・企業はどう向き合うか？

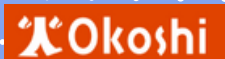
「不登校という概念をなくす」「学びにつながっていない子どもをゼロに」をミッションに掲げ、フリースクール・通信制高校サポート校・探究型学習塾などを運営する非営利団体。不登校の小学生・中学生は増加の一途で全国で34万人、各クラスに1名いる水準（3.7%）になり、子どもが不登校となったことで、5人に1人が退職する「不登校離職」も話題に。この問題に対して、地域の企業・社会人と連携し、不登校児童・生徒向けの授業「**まちなかスクール**」も展開している。**東海若手起業塾**（協賛 **ブラザー工業株式会社**）の2025年度塾生としても選出。プロボノとともに事業共創を行っている。

一般社団法人まなびのとびら
岐阜羽島きょういくラボ
WITH 東海若手起業塾



東海学生アワード & 地域版アワード

東海学生
AWARD



企業・地域団体は若者が育つ生態系づくりになぜ共に取り組むのか？

公益資本主義推進協議会（PICC）と地域のNPOや社会人らが協働して、「なにかを実現したい」と思う地域の若者達に向き合い、挑戦の舞台をつくる**東海学生アワード**が2018年にスタート。今年で8年目を迎える。その後、東三河では**火Okoshiアワード**、三河では**愛知アクションアワード（AAA）**、三重では**トコワカアワード**と、若者を育てる生態系づくりを、各地域で、企業・NPO・有志らがお金を集め、時間をかけてつくりはじめています。その裏にある危機感・思いとは何か？